

令和7年度国立高等専門学校  
入学者選抜統一学力検査問題  
問題訂正

「社会」

訂正箇所	13ページ 8 グラフ内の※
誤	「再エネ等」とは、再生可能エネルギー（水力を除く）等のこと と「LNG」とは、液化天然ガスのこと。
正	「再エネ等」とは、再生可能エネルギー（水力を除く）等のこ と。「LNG」とは、液化天然ガスのこと。

令和7年度入学者選抜学力検査追試験問題

# 社 会

(配点)	1 12点	2 16点	3 8点	4 8点
	5 12点	6 16点	7 16点	8 12点

## (注 意 事 項)

- 1 問題冊子は指示があるまで開かないこと。
- 2 問題は1ページから14ページまでである。検査開始の合図のあとで確かめること。
- 3 検査中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、静かに手を高く挙げて監督者に知らせること。
- 4 解答用紙に氏名と受験番号を記入し、受験番号と一致したマーク部分を塗りつぶすこと。
- 5 解答には、必ず**HBの黒鉛筆**を使用すること。なお、解答用紙に必要事項が正しく記入されていない場合、または解答用紙に記載してある「マーク部分塗りつぶしの見本」のとおりにマーク部分が塗りつぶされていない場合は、解答が無効になることがある。
- 6 一つの解答欄に対して複数のマーク部分を塗りつぶしている場合、または指定された解答欄以外のマーク部分を塗りつぶしている場合は、有効な解答にはならない。
- 7 解答を訂正するときは、きれいに消して、消しくずを残さないこと。
- 8 「正しいものを二つ選べ」など、一つの問題で複数の解答を求められる場合は、一つの解答欄につき選択肢を一つだけ塗りつぶすこと。

例「ウ」,「オ」を塗りつぶす場合

問1	<input type="radio"/> ア	<input type="radio"/> イ	<input checked="" type="radio"/> ウ	<input type="radio"/> エ	<input type="radio"/> オ	<input type="radio"/> カ	<input type="radio"/> キ	<input type="radio"/> ク	<input type="radio"/> ケ	<input type="radio"/> コ
	<input type="radio"/> ア	<input type="radio"/> イ	<input type="radio"/> ウ	<input type="radio"/> エ	<input checked="" type="radio"/> オ	<input type="radio"/> カ	<input type="radio"/> キ	<input type="radio"/> ク	<input type="radio"/> ケ	<input type="radio"/> コ

この場合、「ウ」,「オ」の順番は関係ありません。

**1** 問1から問3までの各問いに答えよ。

問1 次の表は、アフリカ州の国が生産量上位5位までに入る農産物の生産量上位5か国を示している。表中のA, B, Cには、それぞれカカオ、コーヒー、茶のいずれかが当てはまる。カカオとコーヒーの組み合わせとして正しいものを、下のアから力のうちから一つ選べ。

表 アフリカ州の国が生産量上位5位までに入る農産物の生産量上位5か国 (2021年)

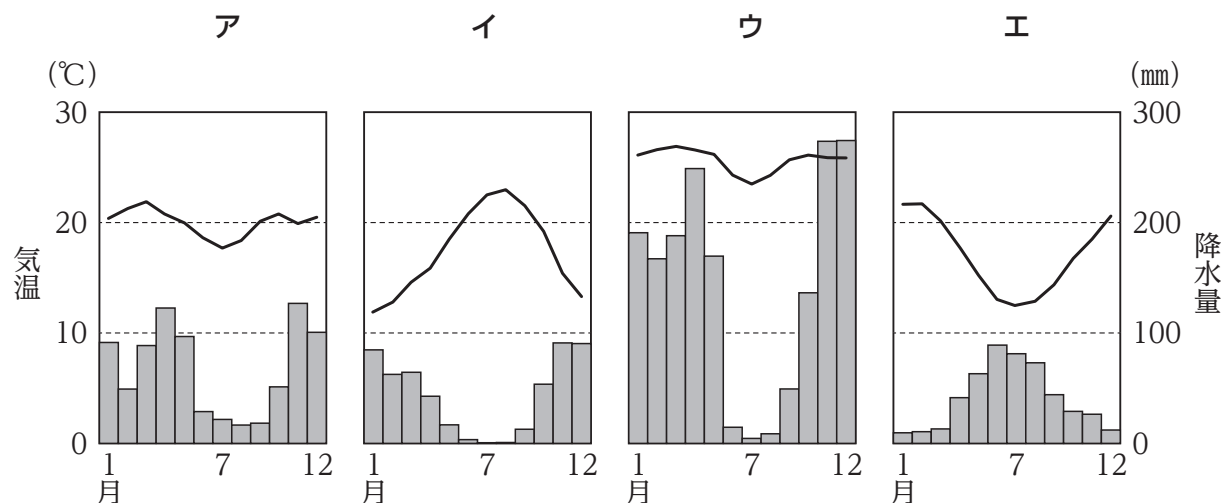
生産量による順位	A	B	C	オリーブ
1位	ブラジル	コートジボワール	中国	スペイン
2位	ベトナム	ガーナ	インド	イタリア
3位	インドネシア	インドネシア	ケニア	トルコ
4位	コロンビア	ブラジル	トルコ	モロッコ
5位	エチオピア	エクアドル	スリランカ	ポルトガル

(FAOSTATより作成)

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
カカオ	A	A	B	B	C	C
コーヒー	B	C	A	C	A	B

問2 前ページの表中のオリーブの生産量4位のモロッコは、アフリカ大陸の北西端に位置しており、他のオリーブの生産量上位の国と同様に、地中海性気候を生かしてオリーブの栽培をおこなっている。モロッコ国内の地中海性気候の地域に位置する地点における月別の平均気温と降水量を示したグラフとして正しいものを、次の図の**ア**から**エ**のうちから一つ選べ。

図 アフリカ州の4地点における月別の平均気温と降水量



(気象庁ホームページより作成)

問3 アフリカ州の多くの国をはじめ、発展途上国（途上国）でみられる「モノカルチャー経済」についての説明文として最も適当なものを、次の**ア**から**エ**のうちから一つ選べ。

- ア** 単一の民族により共通の言語や宗教のもとで経済活動を効率的におこなっている。
- イ** 巨大企業のもとで農産物の加工から流通・販売まで一貫しておこなっている。
- ウ** 近隣の国々からの移民を労働力にして自国で消費する農産物の生産に集中している。
- エ** 世界経済の動きによって輸出品の価格が大きく変動し、国の収入が安定しない。

2 問1から問4までの各問いに答えよ。

問1 表1は空港別の国内線と国際線の年間乗降客数を、表2は国内定期航空路線の年間空港間旅客流動を示している。表1中と表2中のアから工には、ともに成田国際空港、東京国際（羽田）空港、高松空港、福岡空港のいずれかが当てはまる。福岡空港に当てはまるものを、表2中のアから工のうちから一つ選べ。

表1 年間乗降客数（2022年）

空港	年間乗降客数（人）	
	国内線	国際線
ア	46392052	4035869
イ	13890823	933791
ウ	1155746	6088
工	6381619	7372671

表2 国内定期航空路線の年間空港間旅客流動（2022年）

発空港 \ 着空港	年間空港間旅客流動（人）			
	ア	イ	ウ	工
ア	—	3276487	440075	—
イ	3336584	—	—	652839
ウ	432561	—	—	104928
工	—	641827	102685	—

※表2中の—は、定期航空路線がないことを表している。  
 (表1は「空港管理状況調書」、表2は「航空輸送統計年報」より作成)

問2 次の表3は、種類別にみた観光・レクリエーション施設数の上位1位から5位までの都道府県を示している。表3中のA、B、Cには、それぞれ新潟県、長野県、静岡県のいずれかが当てはまる。AとBの組み合わせとして正しいものを、下のアから力のうちから一つ選べ。

表3 種類別にみた観光・レクリエーション施設数の上位1位から5位までの都道府県(2023年)

順位	スキー場	海水浴場	温泉宿泊施設
1位	A	B	C
2位	北海道	千葉県	A
3位	B	福井県	大分県
4位	群馬県	C	北海道
5位	福島県	長崎県	神奈川県

(『数字でみる観光 [2023年度版]』より作成)

- |   |       |       |   |       |       |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ア | A－新潟県 | B－長野県 | イ | A－新潟県 | B－静岡県 |
| ウ | A－長野県 | B－新潟県 | 工 | A－長野県 | B－静岡県 |
| オ | A－静岡県 | B－新潟県 | 力 | A－静岡県 | B－長野県 |

問3 次の表4は、秋田県、神奈川県、愛知県の人口、田の耕地面積および年間水使用量を示している。表4中の愛知県のXとYに入る数値の組み合わせとして正しいものを、下のアからエのうちから一つ選べ。なお、アからエの数値の組み合わせは、愛知県のほか、北海道、東京都、沖縄県のいずれかのものである。

表4 各県の人口、田の耕地面積および年間水使用量（2019年）

県名	人口（千人）	田の耕地面積（千 ha）	年間水使用量（億m <sup>3</sup> ）	
			生活用水	農業用水
秋田県	966	128.9	1.2	25.3
神奈川県	9198	3.7	10.6	1.4
愛知県	7552	42.1	X	Y

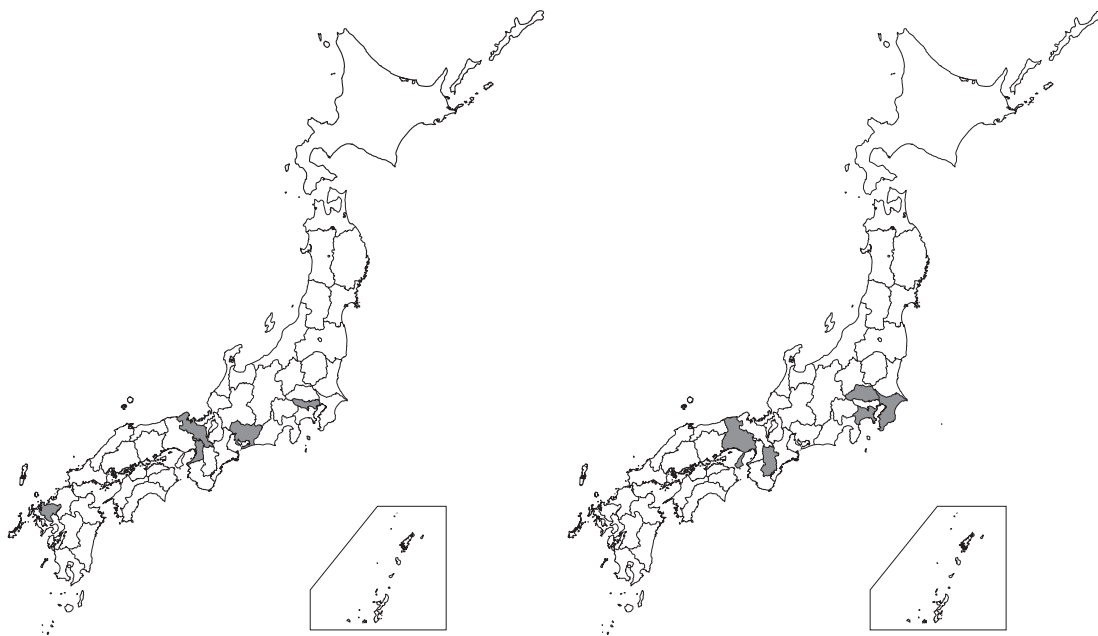
（「令和5年版日本の水資源の現況について」ほかより作成）

- ア X－6.2 Y－46.2      イ X－16.1 Y－1.5  
 ウ X－1.9 Y－2.6      エ X－8.3 Y－10.5

問4 次の図の二つの地図は、2020年における外国人人口の割合、<sup>ちゅうやかん</sup>昼・夜間人口比率（夜間人口に対する<sup>ちゅうかん</sup>昼間人口の割合）、人口密度、老年人口率（65歳以上の人口の割合）のいずれかの統計データについて、上位1位から5位までの都道府県と下位1位から5位までの都道府県をそれぞれ塗りつぶした地図である。この図の統計データに当てはまるものを、下のアからエのうちから一つ選べ。

図 上位1位から5位までの都道府県

下位1位から5位までの都道府県



（「社会生活統計指標－都道府県の指標－」より作成）

- ア 外国人人口の割合      イ 昼・夜間人口比率  
 ウ 人口密度              エ 老年人口率

**3** 図1は、南極点を中心として描いた南半球の略地図である。図2は、北極点を中心として描いた北半球の略地図である。ただし、図1と図2には、陸地は描かれていない。図1と図2を見て、問1、問2に答えよ。

図1 南極点を中心として描いた南半球

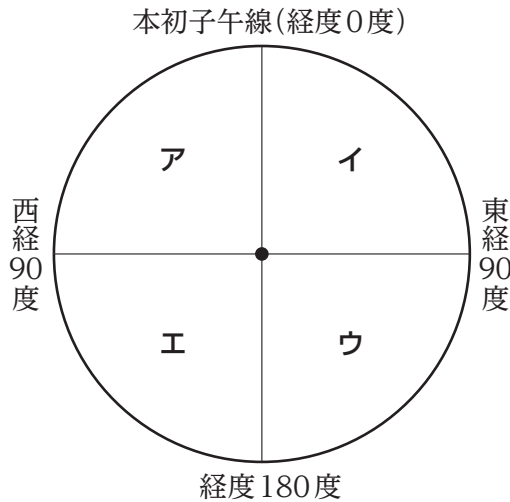
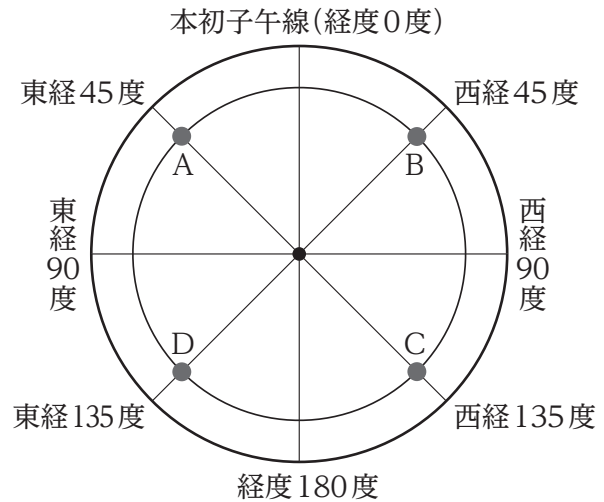


図2 北極点を中心として描いた北半球



問1 図1中のアからエは、南半球について本初子午線（経度0度）から経度90度ごとに四つに区切った範囲を示している。これらの四つの範囲のなかで、南極大陸を除く五つの大陸が一つも含まれない範囲として正しいものを、図1中のアからエのうちから一つ選べ。

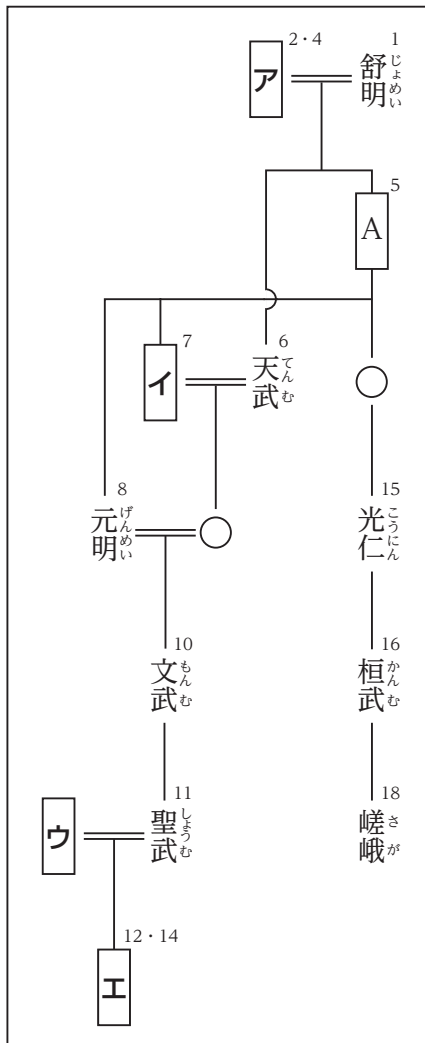
問2 図2中のAからDは、それぞれ同じ緯度上における東経45度、西経45度、西経135度、東経135度の地点を示している。これらの四つの地点は、同じ日においてどの順番に各地点の標準時で午前0時を迎えるか。午前0時を迎える順番を正しく並べたものを、次のアからクのうちから一つ選べ。

- ア A → B → C → D
- ウ B → C → D → A
- オ C → D → A → B
- キ D → A → B → C

- イ A → D → C → B
- エ B → A → D → C
- カ C → B → A → D
- ク D → C → B → A

4 次の系図を見て、問1、問2に答えよ。

系図



問1 系図中の **A** の生年中の出来事を、次の **A** から **エ** のうちから一つ選べ。

**A** さかのうえの たむら まろ せい たいしょうぐん 坂上田村麻呂が征夷大將軍に任命された。

**イ** たいらのまさかど 平将門が関東で反乱をおこした。

**ウ** おう み おおつのみや 都を近江大津宮に移し、初めて全国の戸籍をつくった。

**エ** おののいも こ 中国の皇帝のもとに小野妹子を派遣した。

※数字は系図中の天皇の即位順である。また、即位順の3, 9, 13, 17の人物はこの系図中には載せていない。

なお、「天皇」という称号が用いられるようになったのは、7世紀末ころと考えられている。

問2 次の説明文に述べられている人物を、系図中の **A** から **エ** のうちから一つ選べ。

説明文

じんしん 壬申の乱に勝利して即位した天皇の皇后で、夫の没後は自らも天皇として即位し、中国の都にならない日本で初めての本格的な都をつくるなど、律令制度を実施する準備を整えた。



- 5 昔の人々が書き残した日記は、書き手の立場や視点からさまざまな歴史上の出来事を現在に伝えてくれる貴重な史料である。次の史料1から史料3は、いずれも日記からの抜粋である。史料1から史料3を読み、問1から問3までの各問いに答えよ。なお、史料は現代語に訳し、わかりやすくするために一部を補足したり省略したりしてある。

### 史料1

七月十日。崇徳上皇は白河院に兵を集めた。……夜には左大臣藤原頼長も宇治から参上し、合戦の準備がなされた。……一方、後白河天皇も同じく兵を集めた。源義朝や平清盛らが天皇の命令によって集まり、夜には大軍となった。平清盛と源義朝は天皇に合戦の計画を申し上げた。

七月十一日。未明に、平清盛や源義朝らの軍兵600騎あまりが白河院に向かった。……後白河天皇や臣下が勝利を祈る中、辰刻に東の方に天皇方の攻撃による火の手が見えた。平清盛らは逃げる敵を追った。崇徳上皇と藤原頼長は行方知れずとなり、白河院は焼失した。  
(『兵範記』)

※白河院 …… この当時の崇徳上皇の住まい。

※辰刻 …… 午前8時ころ。

### 史料2

弘安二年七月二十五日晴。……昨夕、宋(南宋)からの書状が関東の幕府から届けられた。京都では今日、御所で会議がおこなわれた。全員が集まり、左大弁がその書状を読み上げたという。伝え聞くとところによると、宋はすでに X によって打ち取られたということである。この書状は日本に危機が迫っていることを知らせてきたものだろうか。今日の会議では、今後の対応について意見の一致をみなかったようだ。

(『勘仲記』)

※左大弁 …… 太政官の役職のひとつで、左弁官局の長官。

### 史料3

六月二日。早朝、丹波国より惟任日向守が本能寺へ押しかけ、信長が自害したという。……本能寺や二条御殿などに火を放ち、都の周辺は騒動になった。すべて打ち果たすと、(明智光秀は)未刻には大津へと下っていった。

(『兼見卿記』)

※惟任日向守 …… 明智光秀のこと。

※未刻 …… 午後2時ころ。

問1 史料1に書かれている出来事は、歴史上のある変化を表すと考えられている。その変化として最も適当なものを、次のアから工のうちから一つ選べ。

- ア この出来事によって、摂政や関白がつねにおかれるようになった。
- イ この出来事によって、戦国時代とよばれる戦乱の時代は終わりを迎えた。
- ウ この出来事によって、都は焼け野原となり、幕府の力はおとろえた。
- エ この出来事によって、武士が朝廷の政治にも力をもつようになった。

問2 史料2中の  に入る国と同じ国のことを述べている文として正しいものを、次のアから工のうちから一つ選べ。

- ア フビライ・ハン(クビライ・カン)はこの国の都を大都だいとにうつし、国号を中国風に改めた。
- イ この国に使節を送った足利義満あしかがよしみつは、皇帝から「日本国王」として認められた。
- ウ この国ではピューリタン革命によって共和政となったが、安定せず再び王政に戻った。
- エ アメリカ大陸に進出したこの国は、インカ帝国など先住民の国をほろぼした。

問3 史料1から史料3に書かれている出来事を年代の古い順に並べ直したときに正しいものを、次のアから力のうちから一つ選べ。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| ア 史料1 → 史料2 → 史料3 | イ 史料1 → 史料3 → 史料2 |
| ウ 史料2 → 史料1 → 史料3 | エ 史料2 → 史料3 → 史料1 |
| オ 史料3 → 史料1 → 史料2 | カ 史料3 → 史料2 → 史料1 |

- 6 カオルさんはレポートのテーマに「日本の食の歴史」を選び、調べたことを年代ごとにカードにまとめてみた。次のカードの文章を読み、問1から問4までの各問いに答えよ。

#### 年代ごとにまとめたカード

A：本州に水田稲作が広まったことが、(1) 米を中心とした日本の食文化の素地になった。

B：日本は餓死者数百万人と言われるほどの飢餓状態にあり、連合軍総司令部（GHQ）の要請によって調査をした担当官は栄養補給が復興のための最優先事項であると進言した。一時停止していた学校給食が徐々に復活し、パンとミルク（脱脂粉乳）のメニューが定番になった。

C：わび茶を大成させた千利休は、茶会でのもてなしの一環として、一汁三菜を基本とする懐石料理を生み出した。

D：しょうゆ、みりん、酢などの調味料が大量につくられるようになり、人口百万人を超える大都市になった江戸では、多くの料理屋が店を開き、にぎりずしやそばなどの屋台も広まった。また  を中心として採取された昆布こんぶが京都や琉球に輸送され、清にも輸出された。

E：(2) 経済が高い成長率を記録し、冷蔵庫、洗濯機、テレビといった電化製品や自家用車が普及しはじめたころ、レトルトカレーやインスタントラーメンに代表されるインスタント食品の普及もはじまった。

F：洋服や帽子が流行し、牛鍋（すき焼き）など肉を食べる習慣も広まった。西洋料理は、宮中の正式な晩餐会ばんさんかいなどではフランス料理のコースを中心に導入されたが、やがて、カレーライスやトンカツ、コロッケといった、日本風アレンジしてご飯に合わせるメニューが大衆的な洋食の定番になった。

G：大震災以来の経済不況や、その後の東北地方を襲った冷害と凶作などにもなって日本の経済状況は厳しくなり、国際連盟を脱退する前年、十分な食事を取れない子どもの問題への対策を契機として、小学校での学校給食が本格的にはじまった。

問1 下線部(1)について、日本の米に関して述べた文として正しいものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

ア 鎌倉時代の守護の職務は、犯罪を取り締まることや、年貢米を取り立てて荘園領主に届けることであった。

イ 江戸時代には大阪（大坂）に多くの藩の蔵屋敷が置かれ、全国から年貢米が運び込まれたことで米の価格が上がり、年貢収入を財源とする幕府の財政状態も改善した。

ウ 日中戦争が長期化するにつれて、軍需品の生産が優先されたことで生活に必要な物資が不足し、米を含めた生活必需品が切符制や配給制になった。

エ 米を収穫した後の水田で冬に麦などを栽培する農法が、明治時代に初めて九州地方を中心として導入された。

問2  に当てはまる地域との交易の窓口となった藩として正しいものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

ア さつま 薩摩藩

イ ちょうしゅう 長州藩

ウ つしま 対馬藩

エ まつまえ 松前藩

問3 下線部(2)の時期の出来事として正しいものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

ア 朝鮮半島で戦争が始まった。

イ 日韓基本条約が結ばれた。

ウ 日中平和友好条約が結ばれた。

エ サンフランシスコ平和条約が調印された。

問4 AからGまでのカードに書かれている出来事を年代の古い順に並べ直したときに、3番目と6番目に当てはまるものの組み合わせとして正しいものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

ア 3番目－C 6番目－B

イ 3番目－D 6番目－B

ウ 3番目－C 6番目－E

エ 3番目－D 6番目－E

- 7 次の資料1から資料3は、戦後の日本および世界の平和や安全保障に関する資料である。  
資料1から資料3を見て、問1から問4までの各問いに答えよ。

資料1 戦後日本の安全保障に関する年表

1950年	警察予備隊の設置
1951年	日米安全保障条約に調印
1954年	自衛隊の発足
1960年	日米安全保障条約の改定
1970年	核拡散防止条約（NPT）* 調印
1992年	P K O協力法の成立
2001年	テロ対策特別措置法 <sup>とくべつそちほう</sup> 成立
2003年	イラク復興支援特別措置法の成立
2008年	新テロ対策特別措置法成立
2009年	海賊対処法の成立
2015年	安全保障関連法の成立

\* 「核拡散防止条約」(NPT)は、「核兵器不拡散条約」という訳もある。

資料2 世界各國の核兵器保有数

国名	核兵器*保有数(推定)
ロシア	5580
アメリカ	5044
中国	500
フランス	290
イギリス	225
インド	172
パキスタン	170
イスラエル	90
北朝鮮	50
合計	12121

\* 配置済みのもの、備蓄のもの、運用が終了し解体前のものをすべて合計した核弾頭の数。

(『SIPRI Yearbook 2024』より作成)

資料3 自衛隊の主な海外派遣先とその概要

派遣期間(年)*	派遣地域	活動目的・内容
1992～1993	カンボジア	P K O
1993～1995	モザンビーク	P K O
1996～2013	ゴラン高原	P K O
2001～2010	インド洋	後方支援
2002～2004	東ティモール	P K O
2004～2008	イラク	復興支援
2009～	ソマリア沖	海賊対処
2010～2013	ハイチ	P K O
2011～2017	南スーダン	P K O

\* 派遣期間は、主たる部隊の派遣期間で、2024年4月現在の情報である。

(防衛省、外務省、内閣府資料ほかより作成)

問1 日本国憲法の基本原則の一つである平和主義についての説明として正しいものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

ア 日本国憲法第9条では、戦争の放棄とともに、自衛のための必要最小限度の戦力をもつことができる」と書かれている。

イ 自衛隊の活動を国民の代表者が管理できるようにするため、日本国憲法では、自衛隊の最高指揮官は内閣総理大臣であると定めている。

ウ 唯一の被爆国である日本は、核兵器について「持たない」、「つぐらなない」を原則として掲げているが、日本国内のアメリカ軍基地への持ち込みは公式に認めている。

エ 日本国憲法前文では、政府の行為により二度と戦争がおきないようにすること、全世界の国民が平和のうちに生存する権利を有することが書かれている。

問2 世界の安全保障をめぐる現状についての説明として正しいものを、資料1から資料3を参考にしながら、次のアからエのうちから一つ選べ。

ア 核拡散防止条約で定められた核保有国以外で、核兵器を保有する国は存在しない。

イ 核拡散防止条約で定められた核保有国が、世界の核兵器数の90%以上を保有している。

ウ 日本の自衛隊は、国連平和維持活動以外の任務で海外に派遣されたことはない。

エ 日本の自衛隊は、イラク復興支援特別措置法に基づいてインド洋に派遣された。

問3 資料1中の下線部の法により日本では、一定の条件の下で、集団的自衛権を行使できるようになった。集団的自衛権の行使の例として最も適当なものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

ア A国がX国から武力攻撃を受けたとき、A国が国連安全保障理事会に協力を要請し、安全保障理事会がX国の行為を侵略と認定し、X国に対して非難決議を出すこと。

イ A国がX国から武力攻撃を受けたとき、A国がこれを自国の存立に対する危機であるとして、X国に対して自国軍のみで防衛し、X国からの侵略をとめること。

ウ A国がX国から武力攻撃を受けたとき、A国と密接な関係にあるB国は、この攻撃を自国の存立に対する危機であるとして、A国とともに防衛すること。

エ A国がX国から武力攻撃を受ける可能性を予見したとき、自国に対する侵略行為を未然に防ぐことを目的として、X国に対して単独で攻撃すること。

問4 安全保障について、国連は1994年に「人間の安全保障」という考え方を提唱した。この考え方についての説明として正しいものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

ア 内戦、紛争、貧困や感染症などの脅威から人間一人ひとりの生活を守るという考え方。

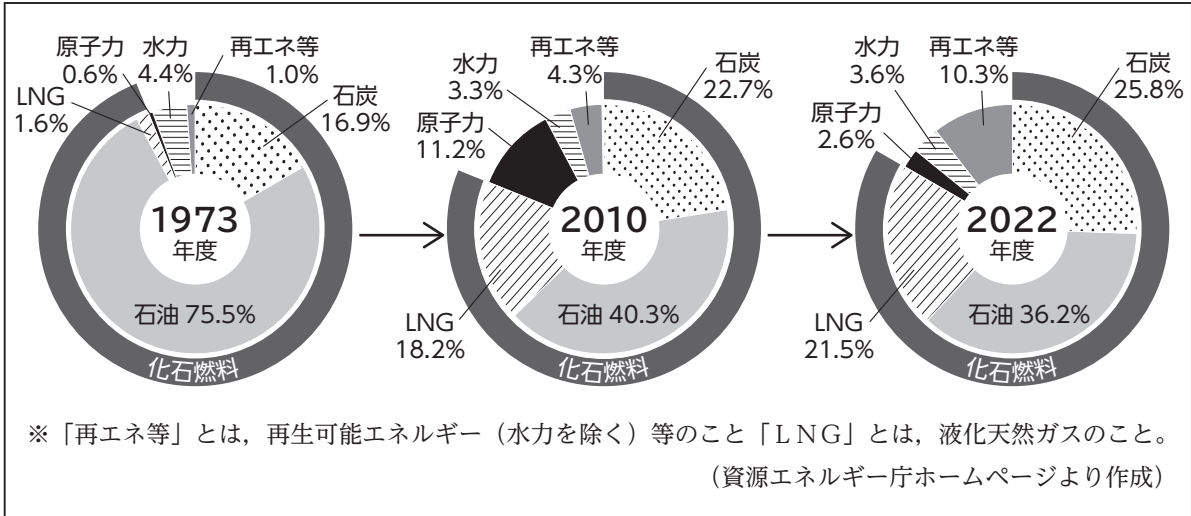
イ 各国の軍事力が均等になるようにして侵略を防ぎ、人間を守るという考え方。

ウ 核兵器を保有し、核抑止力によって自国の安全を守ることができるという考え方。

エ 国際機関を設立することで紛争を防止し、侵略に対して制裁を加えるべきという考え方。

- 8 次のグラフと発表文は、中学生のヒロさんが授業におけるプレゼンテーションで用いたものである。これらを見て、問1から問3までの各問いに答えよ。

グラフ



発表文

このグラフは、日本の一次エネルギー供給の構成を示しているものです。一次エネルギーとは、グラフにあるような石油やLNG、石炭、原子力、水力といったエネルギーの元々の形態であり、これが電力や、都市ガスなどの熱といった他のエネルギーに変えられて、われわれが消費しています。

このグラフを見て、私は日本のエネルギー供給について、二つの問題点があると考えました。第一に、化石燃料の割合が高いこと、第二に、再生可能エネルギーの割合が低いことです。

第一の問題点については、 があげられます。これは、 を見ると、なおわかりやすいと思います。このことを解決するための一つの方策として、再生可能エネルギーの活用を進めることがあげられますが、ここで第二の問題点が浮上します。

第二の問題点の原因としては、 があげられます。具体例として、 を見るとよくわかります。これらのことから、特に再生可能エネルギーの活用を進めることに向けて、 が考えられます。

- 問1 グラフから読み取れることとして最も適当なものを、次のアからエのうちから一つ選べ。
- ア 1973年度から2022年度へと進むにつれて、化石燃料の割合は徐々に小さくなっている。
  - イ 1973年度から2022年度へと進むにつれて、原子力の割合は徐々に大きくなっている。
  - ウ グラフにおける三つの年度では、石炭の割合は30%を超えていない。
  - エ グラフにおける三つの年度では、水力の割合は10%を超えている。

問2 発表文中の  と  には、次のpからrのいずれかが、 と  には、下のsからuのいずれかがそれぞれ当てはまる。これらのうち、 と  に当てはまるものの組み合わせとして最も適当なものを、後のアから力のうちから一つ選べ。

●  か  に当てはまるもの

- p 自然エネルギーによる電力供給は、安定した発電が難しいこと
- q 放射性廃棄物の処理が難しく、事故が起きたときの被害が大きいこと
- r ほとんどを輸入に頼っているため、国際的な情勢の変化の影響を受けやすいこと

●  か  に当てはまるもの

- s 過去50年間の変化をもとにした、2050年までの国・地域別のエネルギー消費量の将来予測についてのデータ
- t 一日を通した太陽光発電の発電量について、天気がそれぞれ晴れ、曇り、雨のときの違いを計測したデータ
- u 2000年以降の、主要国の一次エネルギー供給構成の割合の変化と一次エネルギー自給率の変化をそれぞれ比較したデータ

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
<input type="text" value="A"/>	p	p	q	q	r	r
<input type="text" value="D"/>	s	t	s	u	t	u

問3 発表文中の  には、再生可能エネルギーの活用を進めることに向けた、ヒロさんの考察が当てはまる。 に当てはまるものとして最も適当なものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

- ア 採掘できる場所が限られているため、より効率的に採掘し活用するとともに、深海底など新たに採掘できる場所を探索する
- イ 資源が枯渇する可能性はほとんどないものの、発電に関わる費用が高額であるため、費用を抑えるための技術革新を進める
- ウ 省エネルギー政策と温室効果ガスの排出量の削減のために、国が電力供給会社に対して一定の時間帯の電力供給を禁止する
- エ 有限な資源を活用するため、新たな燃料資源の実用化を進め、活用できる資源そのものを増やす



